



発行
社会福祉法人正和会

発行責任者 菅原 哲
編集責任者 伊藤大士



玉井孝康監事 表彰式

玉井孝康監事は、長きにわたり当法人の発展に大きく貢献されてきました。医療法人としての運営を軸に、平成二十年には、初となる社会福祉法人設立と同時に専務理事に就任。

地域福祉の発展を目指し、次々と新たな事業所を展開。その勢いはとどまることなく、その成長を力強く牽引されました。

そして、平成二十六年には「あかひげ」の開設という大きな節目を迎え、そのタイミングで専務理事を退任。以降は正和会の監事として、見守り続けてくださいました。現場への厳しくも温かな助言は、私たち職員にとって、大きな支えとなり、常に大きな存在でした。

令和七年五月二十三日をもって、その長きにわたるご尽力に対し、敬意をこめての表彰。心より御礼を申し上げます。

菅原施設長より

私が入職した平成十年には、正和会の人事部長としてバリバリ頑張っていました。平成十九年に、私が先に天王担当で、ふくろう・こうのとりを始める為に赴任し、翌年、平成二十年のたんちよう・かわせみ開設の際に、専務理事として、四事業所経営の為に赴任しております。社会福祉法人の運営は行政からの指導も多く、二人で難儀をした記憶があります。

その後も啄木鳥、あかひげの開設と休みなく新たな事業所の開設となりました。現在では二十一の事業所と、大所帯となりました。全ての始まりは玉井監事の赴任からです。今後は役員を引退し、安心して自分が立ち上げた施設を利用してもらいたいと思います。本当にお疲れ様でした。

ダイソーへの外出レク

五月、デイサービスふくろうでは、買い物レクで秋田市にあるダイソー土崎店まで出かけました。店内に入ると、利用者様は、思い思いに売り場を見てまわりました。

このあたりでも有数の大型店舗で、品ぞろえも豊富、雑貨からお菓子まで、目を引く商品がたくさん並んでいました。帰る頃には、袋がはちきれんばかりでした。



群馬旅行記

このとり保守 下澤 一真

先月号に続き、今回は群馬県での思い出になります。アニメの舞台として有名な、群馬の峠道を巡る旅に出かけてきました。

訪れたのは、碓氷峠、妙義山、赤城山、榛名山の四か所。ドタバタでしたが、なんとか全部行くことができました。どの場所も、アニメで何度も見たままで、情景が重なって、思わず胸が熱くなりました。

また、榛名山への道中では、テレビ番組で話題になった「珍宝館」にも立ち寄りました。名前から、ただならぬ雰囲気を感じていますが、その名の通り強烈なインパクトに圧倒されます。



出迎えてくれたのは、名物館長。年齢を感じさせないパワーと、トークが炸裂。館内に並ぶ展示物、それらに対して館長がガイドしてくれました。笑いと教養が入り混じる、その姿にプロを感じました。最後は、館長との記念撮影。旅の中でも、ひととき異彩を放つ思い出になりました。

群馬県の旅は、アニメの聖地だけでなく、ディープな魅力も持つ土地です。他にもまだ見ぬ秘境が、たくさんあるようです。少し変わった旅を楽しみたい方にもおすすめです。

思い出深いこの旅が、また次の旅への原動力になりそうです。景色も綺麗でとても良いところなので、皆さんも是非行ってみてください。

オンライン説明会

現在使用している介護記録ソフトについて、新たな新機能に関する説明会が、オンラインで開催されました。

テーマは「情報共有」です。対外的な情報提供や、利用者を取り巻く情報の円滑な共有を目的とした内容で、PDF、写真、動画、請求書等の送信が可能なコミュニケーションツールとしての機能を備えているとのことでした。

近年、行政からも紙による書類のやり取りの他、電子的な同意が認められており、書類削減のペーパーレス化推進、そういった時代のニーズにも応じた内容となっています。

LINEのようなチャット機能もあるので、導入できれば利用者様、家族、職員間での情報共有が可能となります。（まだ走り始めたサービスなので、実際の運用には時間がかかります。）

今後はさらなる導入に向けた協議が予定されており、現場の業務改善と、ICT活用による質の高い介護サービスの提供に向けて、引き続き期待が寄せられています。

五月メニュー 行楽弁当！

五月のメニューは行楽弁当となっております。赤、茶、黄と、味はもちろん見栄えにもこだわった内容となっております。

このまま、ピクニックにでも繰り出したいですね。

この後も、豪華なメニューが、どんどん続きます。ご期待ください。

お品書き

- ・オムライス
- ・盛り合わせ（エビフライ・ポテトチキン大腸巻、ウインナー）
- ・マカロニサラダ
- ・あじさいゼリー・スープ



編集後記

今月も、コメの高騰が大きな話題となりました。

そんな中、江藤農林水産大臣が「コメは買ったことがない、売るだけある」と発言し、辞任に追い込まれました。発言自体は何気ない一言だったと思いますが、立場や状況によって、重く受け取られることがあります。

自分たちの日常の中でも、気を付けたいところですね。

私も実家が農家なので、コメは買う頻度が少ないです。毎日の日常に感謝です。